



みみだより

松江ろう学校 支援部

No. R3-4 2022. 1. 11

昨年も大変お世話になりました。今年も引き続きよろしく申し上げます。

さて、今号では、「冬の補聴器・人工内耳の管理」、「中学部の合同学習」についてお伝えします。



冬の補聴器・人工内耳の管理

みみだより第1号では、補聴器・人工内耳の汗対策やお手入れ方法についてお伝えしました。冬になると、冬ならではの補聴器・人工内耳の管理が必要になります。これを機会にご家庭でも補聴器・人工内耳の管理について話題にしていただけたらと思います。

結露に注意！

冬は暖房によって、室内と室外の気温差が大きくなります。そのため、チューブやイヤモールドなどに結露が生じ、トラブルの原因になります。（音が小さくなったり、こもってきこえたりすることがあります。）



補聴器を外したら、できるだけ早く乾燥剤の入ったケースに入れ、しっかり乾燥させましょう。イヤモールドやフック、チューブ等の水滴は、こよりなどで吸い取りましょう。

熱に注意！

冬はストーブなど暖房を使う機会が増えますが、補聴器は熱に弱いです。



補聴器をストーブの近くなど高温になる場所には置かないようにしましょう。

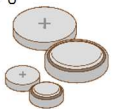


電池の寿命が短くなる！

補聴器に使われる空気電池は、気温が低いところや乾燥しているところでは、電池の減り方が早くなります。



必ず、予備の電池を持ち歩きましょう。こまめに電池の残量チェックをしましょう。電池が冷えている場合は、体温で少し温めてから使いましょう。



【補聴器店の来校について】 《東神実業 月1回 月曜日》

補聴器の調子が悪い、買い替えの相談をしたい、イヤモールドを作りたい等、ご相談ください！

- ◆相談窓口◆ 柳樂
- ◆時間◆ 13:00～
- ◆場所◆ 聴能室
- ◆3学期の来校日◆ 1月17日(月)・2月21日(月)・3月7日(月)

中学部合同学習 3 時間目「先輩の話を聞こう」

12月16日(木)難聴特別支援学級の生徒さんと本校の中学部の生徒と合同学習をしました。同世代の聴覚障がいのある生徒とともに学習することで、自分の考えを伝えたり、いろいろな考えに触れたりすることをねらいとしています。3時間目は、本校高等部卒業生の石田先生に、働く上で大事なことや中高生のうちにしておくことなどをお話頂きました。お話の一部を紹介します。



働く上で大事なこと

○周りを見る

社会では言われなくても周りをみて動く事がたくさんあります。「今、どういう状況か」「これから何をするか」と、常に周りの状況を把握する力が求められます。私たちは聞こえにくい分、聴覚情報が十分ではありません。周りに目を配り、気を配り、しっかりと周りの状況を把握することが大事になります。

○分かるまで聞く

任された仕事は、責任を持って取り組まなければなりません。きちんと正しく仕事をするために、分かったフリはできません。分からなかったり、聞き漏らしたりすることは、よくあることです。そのままにしないで、聞き直したり質問したりして、分かるまでしっかり聞きましょう。

○自分を発信する

仕事をする上で自分のきこえのことを、一緒に働く人に理解してもらいましょう。そのために自分のきこえの状態を理解しましょう。周りの人に伝えることで理解し合えることが増え、働きやすい職場をみんなで作り上げることができます。

中高生のうちにしておくこと

○社会人になった時を想定して行動する

卒業後は学生と同じような支援があるわけではありません。親や学校に任せきりだと、自分で何もしない大人になってしまいます。考えない癖がついてしまう可能性もあります。自立する力がついてないと、自分も周りも卒業後が不安になります。今のうちから、できることはなるべく自分でやるようにしましょう。

○自分を知ろう

どんな時に、どんな支援があれば、きこえるのか(わかるのか)を自分自身が知っておくことが大切です。『自分のきこえについて、周りにどう伝えるのか』を、考え準備しておくといいですよ。聞こえないことは恥ずかしいと思っていませんか?『聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥』という言葉があります。聞くことは恥ずかしいことではありません。聞かないまましておくの方が恥ずかしいのです。分からないときは人に聞きましょう。また、わからない言葉に出会ったときは自分で調べる習慣を今から身につけましょう。

○自分にしかできないことをアピールしよう!

誰にも、得意不得意、できることできないことがあります。例えば、『電話は難しいけど代わりにこれができる』など、自分ができること、自分にしかできないことを今から伸ばしていくことは大切です。できることを一生懸命する。その姿は周りからの信用を得られることにつながり、困ったときに助けてもらえます。よりよい人間関係を作るためにも、自分から発信していきましょう。

聞こえないから諦めるのは良くない。やる前に諦めず、何事にも挑戦。

石田先生の話は参加者の背中を押してくれる内容で、たくさんの方に聞いてほしかった内容でした(詳しくお伝えできなくて残念です)。生徒の感想には「今の自分は語彙が不足しているので、増やしていきたい」「自分のことをどう伝えていくかが課題」など書いていました。